

— 地域のチャレンジをみんなで応援 —

令和7年度 なはSDGs推進事業 ~多様なつながり地域づくり~

まちづくりの新しい手法SIBを通じて、
みんなの出資が起こした変化と今後に向けて

活動報告会

どなたでも
参加可能



取り組みを報告する
4団体の詳細は裏面へ!

那覇市版SIBとは

那覇市版SIBは、市民活動団体がSDGs達成につながる協働活動を市民と共有し、それに共感した市民が出資をして応援をする取り組みです。SIBプロジェクトに挑戦した市民活動団体があらかじめ設定した成果目標を達成すれば、出資をした市民に元本・分配金を支払います。市民活動団体は、「出資」という行為を通じて市民とつながり、行政の直接的助成では得られない応援団を得ることができ、資金も増えます。市民は、主体的に地域課題に向き合い課題解決の当事者となり地域を応援することができます。これらの温かい想いや資金によって活動が効果的に実行され、成果達成によって出資金の元本・分配金を市民に支払うという循環の仕組みで、社会にとってよりよいインパクトがもたらされることを狙いとしています。

事業の成果はどうなったの?

私たちのまちに生まれた変化は?

現地 & オンライン 同時開催

2026

2/22(日) 14:00-17:00 (13:30受付開始)

協働活動の成果と今後の展望、出資返還の手続きを共有します。那覇での挑戦を
支えてくださった方はもちろん、これから応援に加わりたい方もぜひご参加ください。

・なは市民活動支援センター 2階 会議室1
(沖縄県那覇市銘苅2丁目3番1号)
・オンライン会議システムZoom

参加費 無料

定員 70名 程度

お問い合わせ先

公益財団法人みらいファンド沖縄
那覇市まちづくり協働推進課

098-963-7969

098-861-5024

主催 那覇市 後援 沖縄県 / 沖縄県ユネスコ協会

事務局：公益財団法人みらいファンド沖縄 / プラスソーシャルインベストメント株式会社

※当日ご参加が難しい方に向けて、開催後に録画をエントライ(裏面参照)にて公開する予定です。
ただし、当日は協働活動を行った団体と参加者での交流もございます。ぜひ当日ご参加いただけますと幸いです。

お申込み方法

以下QRコードよりお申込みください。



2年目:SIBプロジェクト採択事業者

～地域と奏でる、子どもとまちの未来を拓くハーモニー～
若狭公民館発 吹奏楽を通じた地域クラブモデルづくりプロジェクト



一般社団法人琉球フィルハーモニック
代表理事 上原 正弘さん

一般社団法人琉球フィルハーモニックは、「音楽と共にまちと響きあう」を理念に地域での音楽活動・普及に尽力しています。SIBプロジェクトでは、少子化や教員多忙化による吹奏楽部の指導時間不足、活動継続の困難といった課題改善をめざしプロジェクトを実施しました。若狭公民館を拠点に学校・地域・行政が連携する持続可能な地域クラブを構築するため、出資金をスタッフ活動費、講師謝礼、児童・保護者の安全確保費用に充て、子どもたちが安心して音楽活動を続けられる環境を整備。部活動の地域展開における政策的波及効果もめざしました。

成果目標

- 1 地域クラブ中学生参加者数【15名以上】
- 2 事業期間内にコンクールや地域行事等に参加した回数【2回以上】
- 3 参加者満足度（「満足」「やや満足」と回答した割合）【80%以上】

出資者数 32名

調達金額 500,000円(1口金額10,000円 / 申込上限口数3口)

会計期間 2025年8月12日～2026年1月31日

償還率 102%

投資家特典 2026年3月に2つの中学校と「ジュニアジャズオーケストラおきなわ」の子どもたちによる合同発表会にご招待

～味噌でつなげる地域拠点「よりみん」の温かい共助の輪～
真和志地域における多世代コミュニティづくりプロジェクト



労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 沖縄事業所
城間えり子さん

真和志地域(沖縄県那覇市)では、都市化の影響で住民間の連帯が薄れ孤立感が増し、高齢化・自治会加入率の低下が深刻化しています。地域住民が安心して集まる「みんなのおうちよりみん」を運営する労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団沖縄事業所は、地域資源を活用した「おから味噌」づくり・販売で運営資金を確保しながら、地域のつながりを再生するためのプロジェクトを実施しました。出資金はおから味噌と新商品の開発費用、よりみんの認知度向上のための広告やイベント出店費用に充て、住民自らが経済活動を担いながら地域拠点を支える仕組みづくりをめざしました。

成果目標

- 1 居場所活動での利用者やおから味噌関連で関わる人や接点を持つ人が増える【事業最終月までに100人/月達成】
- 2 よりみん活動を通して生まれたエピソード(居場所利用前後の変化等の事例)を集め、共有する場をつくる【2025年エピソード10本創出、2026年1月エピソード発表イベント開催】
- 3 地域や関連団体又は個人と連携したイベント開催【事業期間10回以上開催(月2回程度)】

出資者数 37名

調達金額 500,000円(1口金額10,000円 / 申込上限口数3口)

会計期間 2025年8月12日～2026年1月31日

償還率 102%

投資家特典 よりみんカフェのドリンク無料チケット贈呈

1年目:助成事業採択事業者

NPO法人沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい

事業名 居場所の再定義と新たな支援・ユースワーク実践事業
～追跡調査による「居場所支援」の検証と地域連携を活かした支援モデルの構築～

助成額 50万円



事業担当:室伏長子さん

困難を抱えるこども若者支援は広がる一方、困難な状況になる前の予防的支援は不足しています。助成事業では本法人が運営する『ユースセンター・アシタネ』利用者へ聞き取り調査等を行い、ユースワークの必要性を明らかにし、地域連携で予防的アプローチとハイリスクアプローチをつなぐ支援体制の構築をめざします。

株式会社大翔

事業名 まーいまーいケアサイクル
～地域の力でつなぐ介護予防とくらしの支援～

助成額 50万円



事業担当:赤嶺和紀さん

那覇市仲井真小学校区をフィールドに、訪問型サービスAを活用し、買い物などの生活支援を地域住民が担う取り組みです。助け合いの活動が日々の暮らしや外出のきっかけとなり、無理なく関わることが自分自身の健康づくりにもつながります。本助成事業では、住民の参加意向や自身の健康に関する調査を行っています。

報告会について

各団体の活動や成果の達成状況、今後の取り組みについてお話をいたします。

イベントのプログラム詳細は[こちら](#)



 **SIBプロジェクトの
詳細、本会議の録画
の視聴は[こちら](#)**

「エントライ」は、一つひとつのプロジェクトを「投資」、「購入」、「寄付」によりふるさとを応援できるクラウドファンディングサイトです。



＼持続可能な地域づくりをめざす、2年間の取り組みをご報告します／

なはSDGs事業では、公募によって選ばれた市民活動団体が持続的に活動できるよう、2年間に渡る資金支援と伴走支援を実施しています。
今回の報告会では、事業1年目の「助成事業採択事業者」、2年目の「SIBプロジェクト採択事業者」から事業の報告をいたします。

1年目:助成事業

- ・SIBプロジェクトに向けての調査・実証事業へ助成
- ・事業助言、相談対応、地域円卓会議実施などの伴走支援

2年目:SIBプロジェクト

- ・SIBプロジェクトによる支援
- ・助言や相談等、専門家等からの支援

3年目以降～

事業内容に応じて自走をめざす